

緑を知ればもっと好きになる。緑を愛すればもっと楽しくなる。

樹土愛楽の春

2023
春
第29号



ツバキをたのしむ



“椿（つばき）”は日本で生まれ育った植物です。古くから愛されたツバキは、万葉集にも登場します。江戸時代には多くの園芸品種が生まれ園芸ブームが起きました。現在では、さまざまな園芸種があり、世界中から愛されています。



ツバキとは

☆ 椿（つばき）

椿は、ツバキ科ツバキ属の常緑高木。

日本を代表する花木。古くから庭木として親しまれている。外国産種との雑種など多くの栽培品種がある。

サザンカやチャノキはツバキの仲間

学名：Camellia japonica

和名：ツバキ（椿）

その他の名前：ヤブツバキ、ヤマツバキ

科名 / 属名：ツバキ科 / ツバキ属（カメリア属）



ツバキの花の形

一重グループ 花弁が8枚以内で、正常な雄しべがあるもの

猪口咲き	極小輪の筒咲き～ラッパ咲き
筒咲き	花びらが外側に曲がらず、やや広がった筒状になる
ラッパ咲き	咲ききると花びらの端が外側に曲がり、大きく開く
平開咲き	花びらが平たく全開する など



猪口咲き「白侘助」



筒咲き「玉之浦」



ラッパ咲き「太郎冠者」



平開咲き「聚楽」

八重グループ

八重咲き	花びらが8枚以上
蓮華咲き	花びらが反り返り花弁と花弁の間があいている
唐子咲き	おしべの先端部や全体が小さな花びらとなって中心にまとまっている
列弁咲き	花びらの重なりが放射状からせん状に整列している
牡丹咲き	雄しべの中に大小の花びらが入りこみ不規則に混ざっている
千重咲き	八重咲きより花びらの重なりが多く雄しべがないか見えないもの など



八重咲き「岩根絞り」



蓮華咲き「都鳥」



唐子咲き「京唐子」



列弁咲き「津川絞り」



牡丹咲き「光源氏」



千重咲き「乙女椿」

ツバキの育て方

日本の風土、気候にあったツバキは、寿命が長く、土壌を選ばず、地植えでも鉢植えでも楽しめます。

花付きをよくするためには、寒風のあたらない半日陰の環境で育てましょう。

庭植えであれば、基本は水やりの必要はありませんが、夏に乾燥するようであれば水を与えます。鉢植えの場合は土が乾燥したらたっぷりと水やりしましょう。

チャドクガやカイガラムシがつきやすいので、早めに捕殺するか殺虫剤を散布すると効果的です。

剪定は、花が終わったら、3月から4月ごろに行いましょう。花芽は、6月から7月ごろにつくられます。

ツバキとサザンカの違い

椿（ツバキ）と山茶花（サザンカ）は、同じツバキ科ツバキ属に属する植物で、交雑によって生まれた品種もあるので、花や樹形がそっくりなものもあります。

＊ 違いを見分けるには 主な特徴（品種によっては、違うものもあります）

- ・ 開花期 ツバキ・・・12月～4月、サザンカ・・・10月～12月
- ・ サザンカの葉のほうがツバキの葉より小ぶり、サザンカは葉柄に毛が生えている
- ・ ツバキは花が丸ごと散るが、サザンカは花弁がバラバラに散る
（ツバキの品種によっては、花弁がバラバラに散るものもある）





素敵なお庭を訪ねてみませんか

＜浜松のオープンガーデン＞

◆ オープンガーデンとは？

オープンガーデンとは、“個人のお庭を一般公開する”ことで、イギリスで始まったとされています。イギリスのナショナルガーデンスキームが発行する「イエローブック」は、イギリスのごく普通の個人のお庭を紹介したガイドブックで、世界的にも広がり他の国々にも大きな影響を与えています。

浜松市では国内でも早くからオープンガーデンの活動が始まっており、現在浜松市におけるオープンガーデンは、花を愛する愛好家同士の交流を目的に、庭園所有者の好意と善意に基づくボランティアによって実現できています。

現在の浜松市オープンガーデンガイドブック最新号は、「浜松花と緑の庭めぐり 2022～2023」です。



◆ ガーデナーさんこだわりのお庭情報が満載！「浜松花と緑の庭めぐり2022-2023」

浜松のオープンガーデンを紹介する冊子の最新号

2022-2023版

個人邸 25邸、団体 7邸をご紹介します

◆価格 1冊 300円

◆販売場所 一般財団浜松公園緑地協会（中区上島3-27-12）
みどり〜な（南区大塚町1876-1）
はままつフラワーパーク（西区舘山寺町195）



◆ 春のはままつ庭めぐり 令和5年5月12日（金）、13日（土）、14日（日）、15日（月）

毎年、オープンガーデンを広く知っていただくために、「浜松花と緑の庭めぐり」（浜松オープンガーデンガイドブック）に掲載されているお庭から参加者を募り、『春のはままつ庭めぐり』を開催しています。今年も、感染対策を行ったうえで、開催します。

庭主さんたちが、この期間はできるだけ在庭し、みなさまのお越しをお待ちしています。花の名前を聞いたり、育て方のコツや庭づくりの楽しみ方などを聞くこともできます。この機会に、すてきな庭を見学してみませんか。

期間中のお庭の公開予定など、詳細は、浜松公園緑地協会のホームページに掲載しています。

☆ この期間以外もお庭を公開しています。通常の公開日・時間・予約の要不要などは、ガイドブックでご確認のうえ、お出かけください。

＊ プライベートなお庭を公開する人たちへの感謝と敬意を忘れず、マナーを守って観賞しましょう。



季節の便り

＜ミモザを楽しむ＞

春の訪れとともに、黄色の小さな球状の花を咲かせるミモザ。小さなふわふわとした黄色の花はとても愛らしくオーストラリア原産ですが、日本でも育てやすい樹木です。ミモザは通称で、「ギンヨウアカシアやフサアカシア」のことです。



ミモザの花を楽しむためには

- ・夏までには剪定を終わらせましょう。夏を過ぎると来年の花芽を切ってしまうです。
- ・成長が早いので、適切に剪定を行いましょう。
- ・根が浅く倒木しやすいので、枝が密集しないようにしましょう。
- ・剪定するときは葉を残した位置で切り、枝だけにしないようにしましょう。
- ・萌芽力（芽を出す力）が強いので、切るほどこんもりします。





指定管理公園で開催された様々なイベントを振り返って

今年度もコロナ禍の中でしたが、公園では、新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかりと行いながら、多くのイベントが開催されました。振り返ってみると、公園の緑やそよ風、降りそそぐ太陽の光を体に浴びながらのスポーツ系イベントが多く開催されました。

美園中央公園の「みんなの運動会」では、運動会ならではの綱引きや、専用タータンを走り電光計測器で測定するコーナーには、お父さんお母さんが疾走する姿を子供たちが応援する姿がみられました。

また、新たな試みとして、美園中央公園の楽しみ方を提供するイベントとして「みそのの新酒会」を実施しました。さらに、公園のシンボルでもあるメタセコイアの並木を会場に、ライトアップを行い夜の公園を楽しんでいただくイベントを、浜北の酒蔵「花の舞酒造」様の協力を得て開催しました。



遠州灘海浜公園での「PLAY GROUND FES」では、恒例のかけっこ教室は、大人気でした。今回は、バスケットボールを使った「スキルチャレンジ」やバスケット教室も行われました。

また、避難マウンドの上で、沈みゆく夕日を眺めながらの「サンセットヨガ」も、この遠州灘海浜公園ならではのイベントだと思います。



佐鳴湖公園では、公園スタッフが講師となって行われる「佐鳴湖RUN」が毎月開催されています。ランナーの多い佐鳴湖公園なので、人気の講座となっています。

また、「ノルデック・ウォーク教室」には、毎月多くの方に参加いただき、季節の移り変わりを感じながら、楽しく佐鳴湖公園をウォーキングしています。さらに、佐鳴湖の自然を体感できる観察会として「野草観察会」や「さかな観察会」、子供たちによる樹名板づくりなど各種体験会を実施しました。



緑化推進センター「みどり～な」では、子供たちに向けて「みどりの夏まつり」をはじめ「みどり～な環境教室」やセミの羽化を観察できる「ナイトパーク」などが企画されました。



万葉の森公園では、食・染を中心に手まり教室や絵手紙教室など、万葉の世界を体感できるイベントを盛りだくさん開催しています。また、資料館では、四季折々の「万葉の世界」を体感できる展示を行っていて、訪れた方々が楽しめる工夫を行っています。



一般財団法人 浜松公園緑地協会

樹土愛楽 発行日:2023. 3. 25 発行

〒433-8122

静岡県浜松市中区上島三丁目27番12号

TEL:053-411-6687/FAX:053-464-7274

e-mail hamamatsu.p.g.asso@coral.ocn.ne.jp

URL <http://www.hama-park.or.jp/>

編集後記: 日本人の4人に1人が患っているといわれるスギ花粉症。今年は、スギ花粉の飛散量が多くてたいへんです。外出時はマスクをし、家に帰ったら、うがい手洗い。栄養をとって、睡眠をしっかりと。これは、もはや習慣となったコロナ対策とおなじ。。快適な生活はいつになることやら。(め)

